

Public Relations

おしらせ版

2016 No.140

9/15



つるくぼ ゆづき (宮司2区)
鶴窪 結月ちゃん



とりごえ みらいちゃん (原町1区)



ふくざき はな (若木台3区)
福崎 花菜ちゃん



ふじた そうま (大和1区)
藤田 想真ちゃん



おがた よういち (大和1区)
緒方 耀一ちゃん



せと ゆい か (岡の3区)
瀬戸 唯衣花ちゃん



こみや そうい (日時野6区)
小宮 颯偉ちゃん



ほり あおと (大和1区)
堀 碧杜ちゃん



いざもと そよか (五反田区)
諫元 颯香ちゃん



ふくしま さく (善福区)
福嶋 朔空ちゃん



みやさか ゆきの (新東区)
宮坂 優叶乃ちゃん



なかがわ たくみ (日時野3区)
中川 拓己ちゃん



みつたけ りょうま (日時野2区)
光武 遼真ちゃん



みうら ほづき (日時野2区)
三浦 穂月ちゃん



かじわら あおい (宮司西区)
梶原 蒼ちゃん



たかき じゆな (日時野3区)
高木 珠椰ちゃん



ふるぞの たかと (日時野2区)
古園 貴人ちゃん

1歳を迎える

赤ちゃんの写真を募集!

発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。赤ちゃんの笑顔を誕生日の記念に広報紙の表紙に飾ってみませんか。

掲載を希望する人は、写真を子育て支援センターなかよしに持参してください。毎号先着27人で、受付期間は、10月生まれの赤ちゃんは9月25日(日)まで、11月生まれの赤ちゃんは10月1日(土)～25日(火)です。

※写真はプリントしたものに限りです。データの持ち込みは受け付けられません。

受付、問い合わせ

子育て支援センターなかよし(ふくとぴあ) ☎35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日



あきやま ゆうと (日時野3区)
秋山 勇翔ちゃん



ふくだ みく (日時野1区)
福田 望来ちゃん



ほんだ りく (五反田区)
本田 凜空ちゃん



ふじた ひろき (花見1区)
藤田 紘希ちゃん



ふるかわ あおば (花見3区)
古川 青葉ちゃん



いしやま ゆうか (東福岡11区)
石山 結花ちゃん



いくた りく (岡の2区)
生田 陸ちゃん



くどう はるき (宮司西区)
工藤 榮輝ちゃん



きの ほのか (四角区)
城野 歩乃香ちゃん

- 02 地域包括支援センターとがん検診のお知らせ
- 04 広報ボランティア／保険年金医療／環境掲示板
- 06 なかよし通信
- 08 次期総合計画の策定に向けて
- 10 情報広場
- 16 郷育かわら版
- 18 地域の日／あじさいロード／アンビシャス広場／
- 囲碁・将棋／心の歌
- 20 図書館からのお知らせ

地域包括支援センターに相談を

福津市地域包括支援センターは、高齢者の皆さんを介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から支える総合相談機関です。高齢者やその家族、地域住民からの御相談を専門職がお受けしています。ぜひ御相談ください。

地域包括支援センターとは

福津市地域包括支援センターは、平成18年から設置されている市の支援機関です。高齢者の介護予防や心配ごとの相談などさまざまな内容の業務を行っています。各専門分野の職員が、市内の中学校区ごとに配置されています。

専門職がいます

・ケアマネジャー

介護支援専門員といい、要支援・要介護認定を受けた人からの相談を受け、介護サービスの給付計画（ケアプラン）の作成、介護サービス事業者

との連絡、調整などを行います。介護が必要な人と介護保険サービスをつなぐ役割があり、地域包括支援センターでは、要支援1・2の認定を受けた人の介護予防ケアプランを担当しています。

・主任ケアマネジャー

支援が困難で複雑な場合に、担当のケアマネジャーと一しよにサポートをしたり、地域ケア会議を活用したりします。

※地域ケア会議：ケアマネジャーが、多職種の意見を聞いて適切な支援につなげることを目的とした会議で、地域包括支援センターが主催して

Q 要支援認定を受けました。介護保険サービスを利用する方法を教えてください。

A 要支援のかたのサービスの給付計画書（ケアプラン）を原則、地域包括支援センターのケアマネジャーが作成します。まずは御相談ください。

Q 介護予防・日常生活支援総合事業対象者の認定を受けた場合は、どこに相談すればいいですか。

A 総合事業対象者の認定を受けたかたは、介護予防ケアマネジメントを作成する必要があります。地域包括支援センターの専門職が担当しますので御相談ください。

高齢者に関する相談は

市地域包括支援センター（ふくとぴあ）☎43・0787 午前8時30分～午後5時30分（日曜日、祝日は除く）



▲福岡東中学校区の担当職員



▲津屋崎中学校区の担当職員



▲福岡中学校区の担当職員

います。行政職員、介護サービス事業者、医療関係者、民生委員などさまざまな人が参加することで、多角的に支援内容を検討し、地域の課題を把握することができます。

・社会福祉士

お金の管理や判断能力に不安を感じるなど、日常生活を営むのに支障があるかたの福祉に関する相談に応じて、助言や指導、援助を行います。

・保健師

大きな病気をしたり慢性的な病気があったり体力の低下があるなど、健康面での心配があるかたへ介護、病気の予防、重症化防止の観点からアドバイスやサービス利用の調整などを行います。

こんな相談があるかたは

Q 親と同居しています。最近、介護負担が大きくなり困っています。

A 介護負担の軽減に向けて、高齢者の状態に応じた介

新しい仕組みについて

3月から介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）を始めました。これからは、高齢者が自分でリハビリや運動をして心身の機能を維持、回復する力が求められます。更に、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、周囲の見守りや高齢者の社会参加の場の整備など

護保険サービスの利用や必要な医療機関への受診などの支援を行っています。

Q 夫が歩くのが難しくなってきました。通院などが大変です。自宅で診察を受ける方法はありますか。

A 在宅医療の相談を受け付けています。訪問診療や訪問看護が受けられる市内の在宅療養支援診療所を紹介します。

Q 地域で介護保険の勉強会を行いたいのですが。

A 地域への講師派遣も行っています。介護保険制度、熱中症や認知症など健康面に関すること、権利擁護など内容に応じて専門職の職員を派遣します。

Q 近所の一人暮らしの高齢者が、認知症ではないかと心配です。

A 地域包括支援センターの職員が自宅を訪問して状態を確認します。今後の対応を御家族や民生委員、近隣住民のかたと検討していきます。

の生活支援も欠かせません。そのためには、専門職、市民ボランティア、NPO、民間企業などさまざまな人たちが協力できる体制が必要です。

この総合事業はその仕組みの一つとして作られました。10月1日号では、この体制整備の話を含めた「地域包括ケアシステム」を特集します。

問い合わせ 市高齢者サービス課 ☎43・8191

がん検診を毎年受けましょう

日本人の二人に一人ががんになる時代です。がんを早期発見して命を守るためには、定期的ながん検診の受診が大切です。

がんは早期発見が大切です

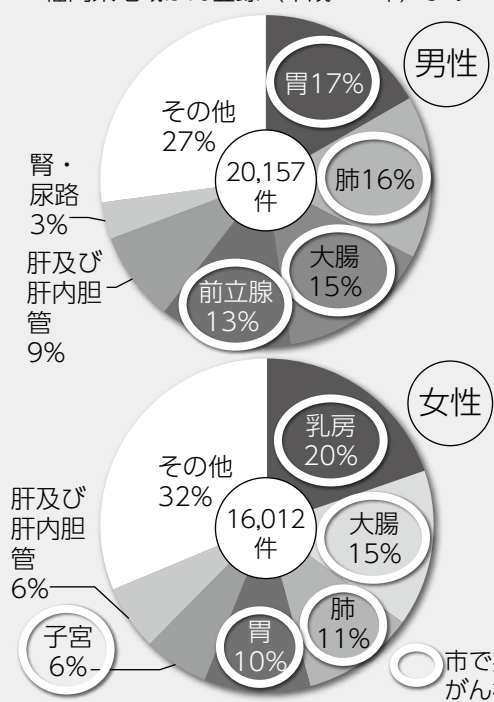
がんは日本人の死因の第1位です。早期発見できる期間に限られています。自分は大丈夫と過信せず、自覚症状がなくても検診を受けましょう。また、その結果「要精密検査」と判定されたら、必ず

医療機関を受診してください。早期発見の場合、その多くが完治可能です。

下のグラフは、平成24年に県で新たに診断されたがんの種類の割合です。男性に多い胃や肺、女性に多い乳房や大腸などのがんは、市のがん検診でも受診できます。

新たに診断されたがんの種類の割合

※福岡県地域がん登録（平成24年）より



がん検診無料クーポンの御利用はお早めに

6月に、今年度21歳になる人に子宮頸がん、41歳になる人に乳がんの検診無料クーポンを郵送しました。これをきっかけに、がん検診を受診しましょう。受診は予約が必要ですので、年度末は毎年混み合いますので、早めの受診をお勧めします。検診内容や費用などの詳細は、お問い合わせください。

問い合わせ 市いきいき健康課健康づくり係（ふくとぴあ）☎34・3351